

もろみ日誌クラウド機能資料

①データ連携（分析計・蔵内）編

2026年1月現在

- P2 概要
- P3 酒類分析計とのデータ連携
- P4 データ連携に必要な準備【分析計】
- P5 データ連携の方法【分析計】
- P6 製造管理システム「蔵内」とのデータ連携
- P7 データ連携に必要な準備【蔵内】
- P8 データ連携の方法【蔵内】

もろみ日誌クラウド
製品ページ



特長とメリット概要

特徴

- 他社機器やシステムとのデータ連携に対応。二重入力をなくし、酒造りデータを一元管理できます。

分析計



製造管理システム



メリット

- 作業の効率化

分析計の計測値をそのままもろみ日誌クラウドにデータ化、分析や帳票作成に活用。

仕込配合表など、共通データの入力にかかる手間を低減。

- 一元管理と共有

酒造りの各データをもろみ日誌クラウドで一元管理。複数端末で共有可能。

酒類分析計とのデータ連携

酒類分析計から出力したCSVデータの取り込みに対応。もろみ日誌クラウドに分析値を反映することで、BMD曲線やAB直線、原工キス、もろみエールといった、酒造りの管理指標となるグラフを自動生成します。過去のよい出来との比較も容易になり、長年の経験と最新データを掛け合わせた酒造りがおこなえます。

現在の対応機種は、以下の通りです。

京都電子工業製

アントンパール製

総酸・アミノ酸計パック[※]

AT-710



迅速アルコール測定キット[※] SD-700

※ データ連携には別途キットが必要です

SD-700

アルコール度

日本酒度

AT-710

酸度

アミノ酸度

アントンパール製

蒸留
不要



アルコール計

Alcolyzer

アルコール度

日本酒度

データ連携に必要な準備 【分析計】

分析器側の準備



- データ連携するには、分析器側の対応が必要となります。
詳しくは分析器メーカー、もしくは導入された代理店へお問い合わせください。

※対応は有償の場合もございます

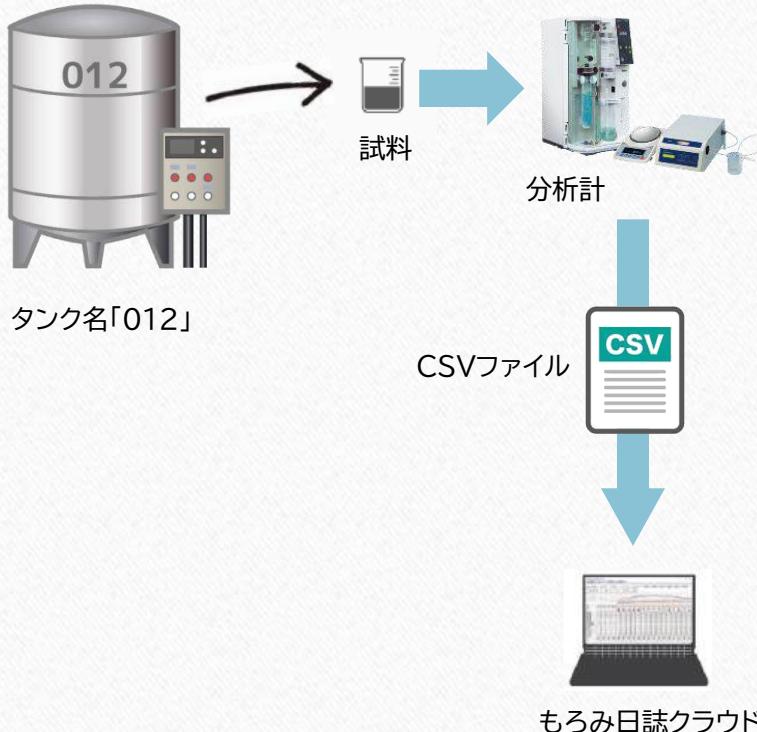
ネットワークの準備



- 分析計、もろみ日誌クラウドの双方でアクセス可能な「共有フォルダ」が必要となります。
詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

データ連携の方法 【分析計】

共通のタンク名で運用、CSVファイルでデータ連携



分析計では「012」として測定

➤ CSVファイルを共有フォルダに出力

共有フォルダからCSVファイルを読み込み

➤ もろみ日誌クラウドでは「012」を計測中の事績に
データ化

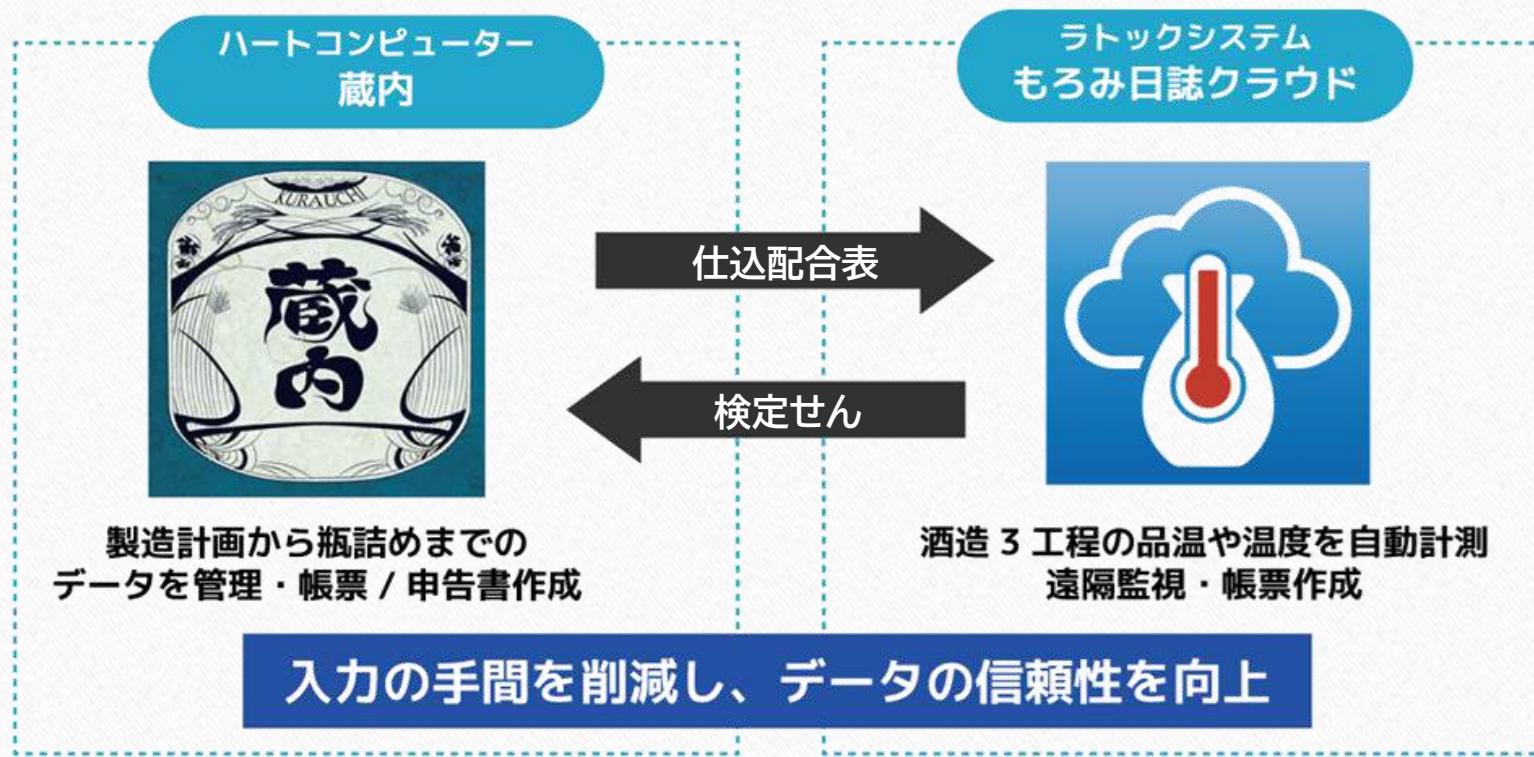
製造管理システム「蔵内」とのデータ連携

もろみ日誌クラウドと蔵内は、共通データの連携がおこなえます。

蔵内からもろみ日誌クラウドに取り込んだ仕込配合は、自動計測した品温データと統合管理し製造帳に反映。

また、もろみ日誌クラウドの検定せんデータを蔵内に取り込むことで、税務帳票の作成を省力化できます。

二重入力の排除と一貫したデータ管理により、精度向上と業務効率化をあと押しします。



データ連携に必要な準備 【蔵内】

蔵内側の準備



- データ連携するには蔵内側の対応が必要となります。
詳しくはハートコンピューター様、もしくは導入された代理店へお問い合わせください。

※対応は有償の場合もございます

ネットワークの準備



蔵内



共有フォルダ



もうみ日誌クラウド

- 蔵内、もうみ日誌クラウドの双方でアクセス可能な「共有フォルダ」が必要となります。
詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

データ連携の方法 【蔵内】

仕込配合表



蔵内



蔵内で仕込配合表を登録

- ▶ 仕込配合表のCSVファイルを共有フォルダに出力

CSV
ファイル



もろみ日誌クラウド
蔵内

- ▶ 共有フォルダからCSVファイルを読み込み
もろみ日誌クラウドの仕込配合管理に登録

検定せん



もろみ日誌クラウド



もろみ日誌クラウドで検定せんを作成

- ▶ 検定せんのCSVファイルを共有フォルダに出力

CSV
ファイル



蔵内

- ▶ 共有フォルダからCSVファイルを読み込み
蔵内の検定せんに登録